

平成30年度 小規模多機能型居宅介護 「サービス評価」 総括表
くろさき小規模多機能ホーム 野崎幸紀

法人名	社会福祉法人 普代福祉会	代表者	大上 重信	法人・事業所の特徴	・普代村の黒崎地区に立地し、旧小学校の一部を改装して開所した小規模な施設です、地域の方々との距離は近く、訪問・面会・差し入れ等も多く利用者様との馴染みも出ています。 ・施設理念である「あなたの笑顔のお手伝い」をモットーに職員一丸となってお世話させていただいております。					
事業所名	くろさき小規模多機能ホーム	管理者	野崎 幸紀							
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	6 人	1 人	1 人	2 人	0 人	4 人	0 人	16 人
項目	前回の改善計画			前回の改善計画に対する取り組み・結果			意見		今回の改善計画	
A. 事業所自己評価の確認	・地域(村)の行事、イベントの把握に努め、積極的に参加する。			地区老人クラブ交流会、サクランボ狩り、夏祭り見物、地区子供会交流会、海フェスタ見物など積極的に参加することができた。			・職員全員で自己評価に取り組んでおり、改善への取り組みが見られる。 ・職員のみんが自己評価する際こまめに自己分析していた。提出期日も守り、内容的にも反省することが見られ、次回の改善計画の参考になる要素がたくさん含まれていた。		各担当ごとに利用者の情報を再アセスメントし、ケアプランの見直しを行い、ケアプランを全スタッフへ回覧しつつでも確認できるようにする。	
B. 事業所のしつらえ・環境	・行政や地域の協力のもと環境整備に努める。			行政や地域の協力の下での環境整備としては不十分であり、自分たちの活動だけで行った。			・施設の環境整備については、法人として取り組むことではあるが、ホームとしてできることは取り組んで欲しい。 ・来年度からは黒崎公民館が施設の隣に新しくできることから、地域の協力の下、環境整備に取り組むことが必要と思われる。 ・事業所内は季節に応じてレイアウトを変える等の工夫をしながら、利用者の皆さんが楽しめる空間を作っていた。		地域の住民の皆さんと一緒にできる環境整備の計画を考え実施する。	
C. 事業所と地域のかかわり	・くろさき小規模多機能ホームの機能として「相談できる場所」であることを広報誌にて地区住民へ周知する。認知症カフェについては法人全体として実施したい。			・今年度より広報誌には行事やイベントの記事よりも「相談できるには」というテーマに基づいて発行を始めたが、相談等はなかった。 ・認知症カフェについては地域包括支援センターで実施している。			・事業所の事を知ってもらうために、口頭や文書だけの説明に加えて、スライド等画面を通じての説明での周知も効果的であると思われる。 ・ホームは地域の方に認識されてきているが、どういう施設なのかという部分については、まだ認識が薄いと思われる。さらに施設を知ってもらう取り組みを。		事業所の機能や役割について、理解を深められるよう関係機関、団体等へ働きかけを行う。(例えば民生児童委員定例会議への出席など)	

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み</p>	<p>・法人内事業所との連携を強化するとともに、地域ケア会議を通じての情報収集、民生委員や福祉関係との連携を行い、地域住民や利用者の情報把握と相談対応に努める。</p>	<p>特養、デイサービスや訪問介護等法人内の事業所とは地域包括支援センターとも通じて情報交換し連携を強化していた。また地域ケア会議を通じての医療、社協、行政と情報交換し連携をとることができた。民生委員との連携は黒崎地区の民生委員との情報交換はできたが、地域全体の民生委員との連携はできなかった。</p>	<p>・事業所の事を知ってもらうために、口頭や文書だけの説明に加えて、スライド等画面を通じての説明での周知も効果的であると思われる。 ・ホームは地域の方に認識されてきているが、どういう施設なのかという部分については、まだ認識が薄いと思われる。さらに施設を知ってもらう取り組みを。 ・独自の交流は記載してあったが、地域となると記載がない。</p>	<p>地域の心配な方などの事例については、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所などと連携を図りながら、必要に応じ、同行訪問させていただくなど支援に繋げるよう努める。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>・会議のテーマに応じて会議場所を変更する。また必要に応じ資料等事前に配付するなど、会議の運営方法を工夫する。</p>	<p>昨年度に比べ、資料の事前配布は行うことができ、テーマに対する事前準備ができた。会議場所の変更については、委員さんが施設を訪れる機会が少ないため場所を変更しないで施設を観察していただいた。</p>	<p>運営推進会議は工夫されて行われている。今後も資料の事前配布を行うなど、委員からの意見が多く出されるよう工夫願います。 ・地域での行事等がないので一緒に難しいのでは。</p>	<p>運営推進会議での業務報告では、スライドショーなどを用いることで、より分かりやすく、イメージしやすいように工夫した情報発信に努める。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>実災害に合った訓練内容を考え、地区住民、関係機関等の協力を得ての防災、災害対策を計画し実施する。また広報誌を活用し、地域住民の協力を要請する。</p>	<p>火災に関する防災訓練を2回、1回目は地域住民の協力は急遽都合によりできなかったが、2回目は地域住民の協力の下実施することを予定している。地震を想定した災害訓練を1回実施することで発電機等の施設内設備の操作や点検ができた。</p>	<p>いつ発生するか分からない災害などに対しては、その状況においての訓練をすることが重要で、今後も地域との連携も含めた定期的な訓練を実施願います。</p>	<p>職員、利用者とも地区での防災訓練に参加し、住民の皆さんとともに防災についての意識啓発を図る。また防災訓練計画を作成し、地域の方と協議し、充実した訓練になるよう検討する。</p>